



# 三田中だより

令和4年度 11月号  
令和4年 11月2日  
港区立三田中学校

## 「三田中魂」を遺憾なく発揮できた日

～ 全力で歌い、全力で聴き、全力で讃え合う ～

校長 上原 良枝

10月29日(土)、三田中学校の合唱コンクールが開催されました。中止になった一昨年度、各家庭1名までの参観で学年ごとの入替制だった昨年度、そして今年は、入替制の制限を付けず、各家庭2名までの参観とさせていただきます。日常的なコロナ禍で対応が確立してきた現在、この生徒たちの頑張りを多くの方に実際に見ていただきたいという思いでした。そして、前もって出席票の提出やご連絡をお願い申し上げましたが、ご来賓の方々にもご来校できるようにいたしました。その結果、素晴らしい合唱コンクールを見ていただけ、心から嬉しく思います。

今回サブタイトルで載せた「全力で歌い・・・」は、開会式で文化行事委員長が述べた言葉です。この言葉を聞いたとき、本当に「三田中魂」の真理を理解していると感心しました。

どのクラスも今まで一生懸命練習してきました。しかし、順風満帆という訳にはいかないことがあったでしょう。クラス練習の2週間では数々のドラマがあったはずです。スピーチからも苦労が伝わりました。でもそれを乗り越えて仲間の良さを知り、クラスのより固い絆が結ばれていきました。皆、合唱練習前より確実に成長しています。そして、自分のクラスだけでなく、他クラスの姿を見てその合唱を聴くことも、とても学びに繋がったはずです。

コンクールですから結果こそ出ましたが、それがすべてではないことは十分わかっていると思います。最高の結果が出たクラスはもちろん大いに喜んでください。でもそうでなかったクラスもそれに等しいくらいの光るものが得られました。決してお金では買うことができません。全力で頑張ったからこそ得られる貴重なものです。そして、そんな自分や仲間を、自信をもって讃えてください。全力で讃え合う「三田中魂」、なんて美しいものでしょうか。

保護者や地域の方からいただいたアンケートを一部紹介します。

「すべての学年の合唱を聴かせていただき、この行事に向け一つになっていることが伝わり、心温まる日となりました」「一人一人真剣に取り組む姿にとっても感動しました。結果だけでなく、クラスごとに試行錯誤しながら練習してきた過程が、とても貴重な体験であったと感じます」「1年生から見ていくと、成長が実感でき面白かったです。生徒さんたちの生き生きした姿に感動し、元気をもらいました」「最後の着席まで心に向けたことに驚きました。受験勉強で慌ただしく過ごす毎日に、改めて学校行事や音楽の力を見せていただいた気がします」

会場にいた人が、一つになっていた気がします。吹奏楽部の演奏も盛り上がるの場を作ってくれ、本当に良い行事になりました。

合唱コンクールは、まず生徒の活躍のおかげで感動的な行事になったことが第一ですが、ここまでに導いた音楽科の教員をはじめ、全教職員で早い時期から計画を立て会議で何度も検討し、保護者の方が納得できる形で開催しようとして心を尽くしてきたことも事実です。生徒への指導もたくさんさせていただきました。そして生徒は見事にそれに応えてました。そういう生徒と、全教職員で作り上げた行事であるということ、ご理解いただければ幸いです。

